

日本赤十字社 福岡県支部

日赤ふくおか

No.
73

平成30年1月19日発行

発行所

日本赤十字社福岡県支部
〒815-8503
福岡市南区大楠3-1-1
TEL:092-523-1171
<http://www.fukuoka.jrc.or.jp/>

CONTENTS

- 2 福岡県日赤紹綴会第58回総会を開催
- 3 福岡の赤十字N e w s
- 4 We Are ボランティア、青少年赤十字活動紹介コーナー
- 5 赤十字インフォメーション
- 6 講習申し込みのご案内

おかげさまで、福岡県支部は今年で130周年を迎えます

「救うことを、続ける。」



11月12日に開催された「福岡マラソン」でランナーを救護する医師と看護師

赤十字活動資金にご協力をお願いします



092-523-1171

お電話で



ホームページ

日本赤十字社 福岡県支部

検索

パソコンから

福岡県日赤紹綴会 第58回総会を開催



福岡県日赤紹綴会第58回総会で表彰された皆さん (50音順・敬称略)

金色有功章

【個人の部】18人
 加来数馬 各務利光 加藤謙太郎
 古賀輝雄 近藤純久 権藤 隆
 笹山祐作 高橋孝二 中田泰之
 西村須恵子 野村庄次 日向啓剛
 日向祥隆 深田芳美 本田伸子
 本田博之 宮下孝義 村上日出子

【法人の部】8社(団体)
 A P T F 北福岡
 株式会社ブレーンコスモス
 宗教法人專立寺
 税理士法人エルビーエー
 西田工業株式会社
 ヤマザ歯科クリニック
 有限会社恵那技建
 有限会社フレッシュフルーツメイト

銀色有功章

【個人の部】8人
 岩井逸子 岩井健一 樋島聖一
 古賀 隆 田代美代子 船井泰乃
 松本義明 森永武彦

【法人の部】4社

アサヒ飲料株式会社九州支社
 株式会社福岡カホスイミングスクール
 株式会社ライト
 日旅サービス株式会社九州団体営業部

日本赤十字社感謝状

【個人の部】17人
 飯田時生 因 信吾 江藤正彦
 大山國夫 小笠原トキ子 上城高義
 久米由岐子 河野達海 竹内治美
 中島利男 平方利義 星野文吉

厚生労働大臣感謝状

【個人の部】9人
 赤司 實 大山國夫 加来数馬
 上城高義 川尻史子 権藤 隆
 竹内治美 中島利男 弘長研史

新会員斡旋功労者に対する紹綴会長感謝状

【個人の部】13人
 有吉明廣 江藤正彦 木下幸子
 楠田一介 古賀康子 濵田繁晴
 竹内 鐘 田中優次 津村洋一郎
 中島陽子 村田規子 山下英子
 吉竹征夫

紹綴褒章

【個人の部】4人
 因 信吾 江藤正彦 北原澄子
 平野比志

11月15日、大塚義治日赤副社長、日赤福岡県支部支部長である小川洋福岡県知事出席のもと、紹綴会員および赤十字関係者など437人が出席し、今年で58回目となる福岡県日赤紹綴会を開催しました。

福岡県日赤紹綴会は昭和34年に全国で初めて、当時の小倉市（現在の北九州市小倉北区）に誕生し、半世紀を経た今も赤十字活動に協力する団体として、多大なるご支援をいただいているます。

式典では、赤十字事業に功労のあった方々に、大塚副社長から赤十字有功章と日赤感謝状が贈呈されたほか、小川支部長から紹綴褒章、厚生労働大臣感謝状の伝達、田中紹綴会会长から会長感謝状が贈呈されました。

大塚副社長あいさつ

(一部抜粋)

有功章をはじめ、栄えある表彰を受けられました皆さま方に、そのご功績をたたえるとともに、心からお喜びを申し上げます。

わが国におきましては、近年も地震あるいは豪雨といった自然災害が後を絶ちません。

本年7月には九州北部を襲った記録的な豪雨により、ここ福岡県でも大きな被害が発生いたしました。被災された方々に深い哀悼の意と心からのお見舞いを申し上げます。

急速に変化する時代のもとで、赤十字もさまざまな新しい課題に直面しております。こうした時代の変化に即した体制の構築に努めてまいりたいと考えております。



福岡の赤十字 News

News
1

奉仕団としての気持ちを新たに

10月と11月に福岡・北九州など4会場において、赤十字奉仕団員としての知識・技術の習得及び資質の向上を目的とした地域赤十字奉仕団員研修会を開催しました。

研修会では、健康生活支援講習短期講習「リラクゼーション・癒しのハンドケア」を実施し、団員同士でショルダーケアなどの実技を行いました。また、支部職員による九州北部豪雨災害における救護班の医療救護活動や、奉仕団による炊き出しの活動報告に加え、災害時には、「自分は大丈夫だろう」という思い込みを捨てることや、自助、共助の重要性などについて説明を行いました。

参加者からは、「日頃、災害から自分の命を守る意識を持つこと、炊き出しなどでお互いに助け合う気持ちを忘れないことが大切だと感じた」といった感想が聞かれました。



ショルダーケアを実施する団員



炊き出しに使用するかまどなどの展示

News
3

九州八県支部合同で災害救護訓練を実施

12月10日、大分市の大分スポーツ公園で、日赤九州八県支部合同災害救護訓練を実施しました。当日は、九州各県の赤十字施設や大分DMAT、大分市消防局に加え、模擬傷病者として日赤九州国際看護大学学生奉仕団ら総勢322人が参加しました。

訓練では、日向灘を震源とするM9.0の南海トラフ地震が発生したとの想定で、対策本部や救護所の運営訓練を行い、関係機関との連携方法や通信システムの確保、傷病者の受け入れ、応急処置の手順などを確認しました。

参加者からは「同じ災害は2つとないと言われるとおり、現場では臨機応変な対応が必要。こうした訓練の積み重ねで現場での対応力を上げていきたい」との感想が聞かれました。



地元消防局と連携を図りながらの救護活動訓練



搬送された模擬傷病者を処置する医師と看護師

News
2

バングラデシュ避難民を救うために

ミャンマーから避難民が流入し、水や食料不足に加え医療機関や公的サービスが逼迫しているバングラデシュ南部で、日赤の医療チームが地元赤十字社と協働で巡回診療やこころのケアなどを実施し、診療開始から2カ月で診察患者数は延べ1万人を超えるました。

今回、第3班として、福岡赤十字病院から橋本香織看護師が派遣され、昨年11月24日から今年1月11日までの約2か月間、医療救護活動を行いました。

現地に建てられた仮設診療所には、一日平均200～300人訪問しています。今後はコレラなどの流行も懸念されるため、日赤は医療支援を3月末まで延長することを決めました。



橋本香織看護師



医療チーム（第2班）として活動する看護師

News
4

NHK 海外たすけあい キャンペーン

12月1日～25日まで「NHK 海外たすけあい」キャンペーンが行われました。キャンペーン初日は、NHK福岡・北九州各放送局でオープニングセレモニーが開かれ、近隣の幼稚園から園児たちが手作りの募金箱や花束、激励のお手紙などを職員に手渡しました。

また、12月4～6日の3日間、奉仕団や日赤地区職員と共にJR博多・小倉駅、西鉄久留米駅でそれぞれ街頭キャンペーンを実施し、チラシなど約6,500セットを配布しました。

届けられた救援金は、世界191の国と地域に広がる赤十字のネットワークをいかし、紛争犠牲者への緊急支援や、自然災害で苦しむ人々への救援物資など幅広い人道的活動に使われています。



JR 博多駅



JR 小倉駅



西鉄久留米駅

We Are
ボランティア

クリスマスのわくわくを 患者さんとともに



12月21日、日本赤十字九州国際看護大学の学生からなる学生奉仕団のメンバー18人（1年生6人、2年生9人、3年生3人）が福岡赤十字病院でキャンドルサービスを行いました。

メンバーは、看護師と一緒になり複数のグループに分かれたあと、淡い光の灯ったキャンドルを片手に、クリスマスの定番曲である「きよしこのよる」、「もうびとこぞりて」、「ジングルベル」、「サンタが街にやってくる」の4曲をアカペラで歌いながら病棟を回りました。

病棟の廊下をゆっくりと歩いていると、患者さんが歌に合わせて笑顔で手拍子をしたり、一緒に歌ったり、中にはキャンドルサービスの列に入って、一緒に回ってくださる方もいらっしゃいました。

参加したメンバーは、「クリスマスという神聖でわくわくした気持ちを共有することができ、とても幸せな気持ちになりました。患者さんと一緒に喜びを感じることができ、とても貴重な体験になりました」と嬉しそうに感想を述べました。



看護師の皆さんと息を合わせて歌う



大きなクリスマスツリーの前で



青少年赤十字活動紹介コーナー



笑顔を広げるボランティア部の活動 ～地域に根ざした活動を通して～

JRC 加盟校である春日市立春日東中学校では、「人間力を培い、地域に貢献できる生徒」を学校教育目標に掲げ、ボランティア部を中心に、赤十字の精神に基づき、さまざまなJRC活動を積極的に行ってています。中でも、「光町いきいきふれあいサロン」では、高齢者の方々との交流を行ったり、「若葉台東地域支え合い活動事業」では、高齢者宅訪問を行うなど、地域に密着した活動も、平成27年から本格的に行ってています。

参加した生徒からは、「『こんにちは、何かお変わりありませんか』と何気ない言葉かけができるようになるまで時間がかかりました。最初は会話が続かず困ったこともありましたが、回数を重ねるごとに地域の皆さんとの会話が楽しいものになりました。お伺いさせていただいたすべての方々へ感謝しています」という感想が聞かれました。顧問の先生は、これからも地域に愛され、必要とされるボランティア部活動でありたいと考えていますと、笑顔で語ってくれました。



若葉台東地域
支え合い活動
事業訪問の
ようす



光町
いきいき
ふれあいサロンの
ようす



赤十字インフォメーション

information



災害を減らす!?

赤十字防災セミナーで防災・減災について考えてみませんか？

過去の災害の教訓を踏まえ、将来、発生が予測されている南海トラフ地震などの大規模災害から、人々のいのちを守るために「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要です。

そこで、日本赤十字社では、地図を使って災害時の地域における危険を予測したり、過去の経験談を通して災害を追体験するなど、防災・減災に関するセミナーを実施しています。

災害から自分と周りの大切な人のいのちを守るはどうしたらよいか？一緒に考えてみませんか？

災害への備え

災害（特に地震、津波、大雨・土砂）からいのちを守り、身の安全を確保するため、普段から準備すべきことを学びます。



所要時間：50～60分

[カリキュラム]

- 地震災害
- 津波災害
- 風水害
- 災害発生後の暮らし

災害図上訓練 DIG

自らの居住地域で、防災上の資源や災害時に出現する危険性を地図に明記し、個人や地域単位であらかじめ行うべき取り組みについて、グループワークを通じて検討し理解を深めます。



所要時間：120分

[カリキュラム]

- 地震災害
- 津波災害
- 大雨、土砂災害



日頃の備えが、災害による被害を減らすことにつながるんだね！

災害エスノグラフィー

過去の大規模災害における被災者の経験談を再編集して1つの読み物を作り上げ、読み物を通じた過去の災害の追体験することで、被災の具体的なイメージを把握・理解します。



所要時間：120分（カリキュラムにより変動）
[カリキュラム]（10時間/100時間フェーズの2部構成）
● 地震災害 ● 津波災害

応急手当など

身近にあるものを用いた応急手当（搬送含む）をはじめ、一次救命処置（心肺蘇生法やAEDの使用方法など）を学びます。



所要時間：30～60分（カリキュラムにより変動）
[カリキュラム]
● 搬送 ● きずの手当て（三角巾） ● 心肺蘇生法
● AED ● 骨折の手当て
※一部経費が発生します。

その他

日本赤十字社の成り立ち、現在の活動内容、災害時の役割や防災・減災に取り組む背景などについての紹介や非常時に役立つ炊き出しなどを体験します。



所要時間：10～60分（カリキュラムにより変動）

[カリキュラム]

- 日本赤十字社の紹介
- 炊き出し

※材料などの準備をお願いします。

【お問い合わせ先】 事業課 救護担当 TEL 092-523-1172（直）

知つて得する

赤十字講習会を、あなたも受講してみませんか？



「私たちは、忘れない。」 ～未来につなげるプロジェクト～

災害時の支援活動と応急手当
～地域での防災活動のために～

東日本大震災から今年で7年となります。
日本赤十字社では、継続した復興支援と、減災・
防災の意識を高めることを目的に、3月に「私たちは、忘れない。」～未来につなげるプロジェクト～
を全国展開します。

福岡県支部では、プロジェクトの一環として災
害時の支援活動と応急手当などを学べる講習を開
催します。また炊き出し体験、試食も行います
のでご家族、ご友人とぜひご参加ください！

健康生活支援講習

●健康生活支援講習

教材費:無料 受講条件:満15歳以上 定員:20人

開催日	時間	会場
3/9(金)	9:30~13:30	福岡県支部
受付期間		
1/15(月)~2/23(金)		

救急法



「いのちの輪をつなぐために」

●救急法(基礎講習)

教材費:1,500円 受講条件:満15歳以上の方 定員:各日30人

開催日	時間	会場	受付期間
2/7(水)	10:00~16:00	コムシティ(八幡西区)	12/25(月)~1/26(金)
3/20(火)	13:00~18:00	福岡県支部	2/5(月)~3/2(金)

●救急法(救急員養成講習)

教材費:1,700円 受講条件:満15歳以上の方 定員:30人

開催日	時間	会場	受付期間
2/8(木)~9(金)	9:00~17:00	コムシティ(八幡西区)	12/25(月)~1/26(金)

幼児安全法



「万一の子どもの事故や
けがに備えたい」

●幼児安全法(支援員養成講習)

教材費:1,800円 受講条件:満15歳以上 定員:20人

開催日	時間	会場	受付期間
3/16(金)~17(土)	9:00~17:00	福岡県支部	1/15(月)~2/23(金)

【お申し込み方法】

講習会のお申し込み方法は、以下の3通りです。

詳細は、福岡県支部ホームページ

(<http://www.fukuoka.jrc.or.jp/>) をご確認ください。

①インターネットで ②はがきで ③FAXで



【お問い合わせ、お申し込み】

日本赤十字社福岡県支部 事業課 講習担当

〒815-8503

福岡市南区大楠3丁目1番1号

T E L : 092-523-1172

F A X : 092-521-2552

E -mail:koushuu@fukuoka.jrc.or.jp